

物流の未来を探求 日本初物流NPO

日本物流研究グループ



会見する堀田理事長

われずに新しい価値を
社会に提供していき
たい」とあいさつ。

「物流の未来を探求
しつつける」ことを運
営理念とし、具体的
活動としては、「業界
に携わる人たちに成長
の場を提供する」ため
に、一般社会でも十分
に通用するような人材
育成や先進的な物流業
界の取り組みに関する
調査・研究活動、講師
の派遣、資格講習、物
流企業の視察など、実
業に生かせる業界のプ
ラットフォームを目指
す。さらに「一般にも
物流事業の社会的価値
を理解してもらう」た
めに、身近な製品の商
流を紹介したり、危険
予知やエコドライブの

紹介、大型車両に対す
る恐いという既成概念
を払拭する機会などを
積極的に設けることで
一般市民と知識や情報
を共有していく。

設立時のメンバーは
中部地方を中心とした
16人だが、今後1年間
で地域や職業を問わず
100人～150人程
度に会員を増やしてい
く。有識者顧問には、
同志社大学院教授の浜
矩子氏、神奈川大学教
授の中田信哉氏、湯浅
コンサルティンク社長
の湯浅和夫氏など5
人、顧問にはあんしん

社長の安里享英氏、中
田商事社長の中田純一
氏など6人が名を連
ね、中部トラック総合
研修センター前専務理
事の安藤小四郎前専務
が監査役という重厚な
布陣だ。

入会費1万円、年会
費1万円（学生はいず
れも免除）で運営して
おり、現在、活動に賛
同するメンバーを募集
している。

問い合わせは、電話
052(753)76
95。

(加藤 崇)

昨年7月、20代～30
代の若手経営者を中心
に設立し、今年1月6
日に日本初となる物流
NPO法人を取得した
日本物流研究グループ
(堀田佳秀理事長、名
古屋市千種区)は8日、
設立説明会を開催。

堀田理事長は、冒
頭「業界の常識にとら